

環境についての理解を深める 1		起案：（一社）かんきょうデザインプロジェクト 代表理事 武松 昭男	
分類	総合学習時間 国際理解	教具	パソコン、プロジェクター
プログラム名	毎日、食べることに困らないのは、なぜ？		
プログラム内容	フードマイレージの考え方をを使いながら、「食べる」、という当たり前のことが環境や生産地にどのような影響を与えているか考察し、食を通じた環境理解・国際理解を深めます。		
プログラム目標	豊かな日々の食卓があるのは、食材を海外からたよっていること、そして、そのことが環境や生産地にどのような影響があるかを考える。		

	概 略	コミュニケーション
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食料自給率 日本と他国の比較</li> <li>■ 食料消費の変化</li> </ul>	質問：食料自給率って、知っていますか？
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外食産業の食糧はどこから、どれくらいの割合で来ているか</li> <li>■ フードマイレージの説明。</li> <li>■ これからの未来も、輸入を続けることは可能なのか。人口問題や気候変動の話を含みます。</li> </ul>	質問：今まさに食べようとしている食べ物が、どこから、どれくらいの量なのか、そうしたことを考えたことありますか？ 質問：フードマイレージという言葉を知っていますか？ 質問：人口が2050年には90億人を超えると予測されている。このことは食料環境にどのような影響を及ぼすと思いますか、一緒に考えてみましょう。 (※)前後の机の生徒で話し合い、発表
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ フードマイレージから見えること 長い距離を運ぶこと、外国からは船や飛行機で、そして日本についてはトラックや列車を利用する。また、その生産してもらっている国の大切な農地や水などの環境や資源に、どんな影響を与えているのかを整理する。</li> </ul>	質問：どんな影響を与えていると思いますか？